



【お庭づくりの極意】～最も大切な品種選び～

品種はハイブッシュ系とラビットアイ系があります。ハイブッシュ系の方が大きい粒が付き、果皮も柔らかいため、ラビットアイ系を台木にして、ハイブッシュ系を接ぎ木するのが理想です。ハイブッシュ系の品種のなかでは、暑い地域でもよく育つブルーレイと、大きい果実がつくチャンドラーが特におすすめの品種です。

手順



①8号ポットと、硬質鹿沼土とピートモスを同量混ぜ合わせた用土、又はブルーベリー専用土を用意する。②根鉢(根と土の塊)を崩さないように抜く。8号鉢に用土を入れて仮置きする。③隙間を埋めるように少しずつ土を加え、苗木を安定させる。④鉢底から出る水が茶色から透明になるまで、たっぷり水やりする。

栽培管理のポイント

ブルーベリーは酸性土壌を好むため、あらかじめ配合されたブルーベリー専用土を使い、すぐに鉢増し作業を行うことが大切です。地植えせずに鉢のまま管理する時は、根詰まりを防ぐため、3年ごとに1～3月に植え替えます。剪定適期は1～2月です。極端に伸びた枝は実が付きにくく樹形を乱すため、つけ根で切り取ります。

品種のマ×知識

ラビットアイ系の実付きをよくするには、異なる2品種以上の苗木を一緒に育てる必要があります。実付きが悪い時は、雄しべをほかの品種の花の雌しべにこすりつけると、実つきが極端によくなります。



園芸はじめの1歩！

3年かけて理想の庭づくりへ

写真・文：富山 昌克

今年度はお庭の中景部分を彩る植物を季節ごとに紹介します。手軽に入手できて、誰でも簡単に育てられる超スタンダードな園芸植物の栽培法をマスターしましょう。



No.6 ブルーベリー



ブルーベリーは、育てやすく場所もとらないため、手軽に育てることができる小果樹です。春に小花を多数付け、夏に果実を収穫でき、秋に紅葉し、冬は落葉するので、季節ごとに楽しむことができます。甘酸っぱい果実は生食、ジャム、ジュース、スイーツ、リカー酒などで味わうこともできます。

開花期間 3月下旬～4月中下旬

収穫期間 6月～9月上旬

水やり 土表面が乾いたら(夏は毎日)

置き場 日当たりのよい場所



地植えのポイント

12～2月に日当たりのよい場所に穴を掘り、掘り上げた土と同量の、酸度未調整のピートモス(改良用土※水を加えて練っておく)を混ぜ合わせます。中央を高くして根を広げて植え付けます。周りに溝を掘り、バケツ2杯分の水を注ぎ、落ち葉を敷くことで株元の乾燥を防ぎます。

次回は9月号予定 クレマチスの栽培方法

市公式YouTubeチャンネルでは、パイナップルの冠芽挿しの動画を公開中！ぜひご覧ください！

